

**三重県高体連ソフトボール競技 春季大会**  
**兼東海高等学校総合体育大会ソフトボール競技(男子の部)県予選会**

第1日 2018年 4月 28日(土)

開催地: 三重県 亀山市

## 《1回戦》

球場名: 東野公園ソフトボール場

No. 1

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	試合時間1:14	計	(球審)	
稲生高等学校	0	0	0					3回コールド	安打 1	0	大河内 充 (一塁) 岩間 大輝 (二塁) 藤本 忠勝 (三塁) 前田 重憲 (記録) 大堀 廣治
三重県立松阪高等学校	19	14	X						安打 14	33	

(バッテリー)[勝:○, 負:●] 先攻(投) ●神谷 宗一郎, 中島 颯太 --- (捕) 小西 亮輔

後攻(投) ○西野 晋哉 --- (捕) 高橋 大地

先攻 (本塁打) \_\_\_\_\_ (三塁打) \_\_\_\_\_

(長打) 先攻 (二塁打) \_\_\_\_\_

後攻 (本塁打) 今西 賢汰(1回2ラン) (三塁打) \_\_\_\_\_

後攻 (二塁打) 中井 諒, 今西 賢汰, 高橋 大地

(特出記録) \_\_\_\_\_

## 《準決勝》

球場名: 東野公園ソフトボール場

No. 2

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	試合時間1:15	計	(球審)	
三重県立四日市工業高等学校	3	0	3	0	0	0	1		安打 7	7	佐々木 真 (一塁) 田野田 浩一 (二塁) 前田 重憲 (三塁) 藤本 忠勝 (記録) 植森 郁夫
津西高等学校	0	0	0	0	0	0	0		安打 0	0	

(バッテリー)[勝:○, 負:●] 先攻(投) ○服部 凌也, 松田 竜輝 --- (捕) 樋口 智也

後攻(投) ●松原 諒弥 --- (捕) 川口 瑞希

先攻 (本塁打) 坂口 伸也(3回2ラン) (三塁打) 宮本 尚弥

(長打) 先攻 (二塁打) \_\_\_\_\_

後攻 (本塁打) \_\_\_\_\_ (三塁打) \_\_\_\_\_

後攻 (二塁打) \_\_\_\_\_

(特出記録) \_\_\_\_\_

## 《準決勝》

球場名: 東野公園ソフトボール場

No. 3

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	試合時間1:53	計	(球審)	
三重高等学校	1	1	4	1	0	0	1		安打 8	8	岩間 大輝 (一塁) 大河内 充 (二塁) 田野田 浩一 (三塁) 佐々木 真 (記録) 大堀 廣治
三重県立松阪高等学校	1	0	0	2	0	0	0		安打 11	3	

(バッテリー)[勝:○, 負:●] 先攻(投) ○鈴木 惇平 --- (捕) 立野 太陽

後攻(投) ●中井 諒, 西野 晋哉 --- (捕) 林田 和真

先攻 (本塁打) 立野 太陽(1回ソロ), 鈴木 惇平(3回2ラン) (三塁打) 上川 雄飛

(長打) 先攻 (二塁打) 橋本 悠矢, 大市 竜也

後攻 (本塁打) \_\_\_\_\_ (三塁打) \_\_\_\_\_

後攻 (二塁打) \_\_\_\_\_

(特出記録) \_\_\_\_\_

**三重県高体連ソフトボール競技 春季大会**  
**兼東海高等学校総合体育大会ソフトボール競技(男子の部)県予選会**

第2日 2018年 4月 29日(日) 開催地: 三重県 亀山市

《決勝》	球場名: 東野公園ソフトボール場							No. 4				
チーム名	1	2	3	4	5	6	7	試合時間1:05	計	(球審)	坂本 守	
三重高等学校	0	0	0	0	0			5回コールド	安打	0	(一塁)	山中 治
三重県立四日市工業高等学校	2	3	2	0	X				安打	7	(二塁)	大堀 廣治
									安打		(三塁)	草河 元敦
											(記録)	谷岡 道人

(バッテリー) [勝:○, 負:●] **先攻(投) ●林 聖也** --- (捕) 立野 太陽  
**後攻(投) ○松田 竜輝, 山田 昂輝** --- (捕) 樋口 智也, 真弓 隼輔

**先攻** (本塁打) \_\_\_\_\_ (三塁打) \_\_\_\_\_  
 (二塁打) \_\_\_\_\_  
 (長打) \_\_\_\_\_

**後攻** (本塁打) \_\_\_\_\_ (三塁打) \_\_\_\_\_  
 (二塁打) 松田 竜輝

(特出記録) \_\_\_\_\_

**【決勝戦評】 三重県立四日市工業高等学校 投打で圧勝！**

四日市工業は初回、2番山本祐輔の三塁内野安打と盗塁、3番樋口智也の四球・暴投で一死二三塁とすると4番坂口伸也が中前2点タイムリーを放ちあっさり先制。2回には、7番服部凌也の四球を足掛かりに3つの敵失と2番山本の右前安打などで加点し、3回には、5番矢田泰樹・6番松田竜輝の連続安打などで大きくリードし、投げては先発・松田、2番手山田両投手が被安打1に抑え5回を0封、投打がしっかりかみ合い優勝、東海総体に駒を進めた。

一方三重高校は4回、1番橋本悠矢の安打と2四球で二死満塁とチャンスを迎えたがあと1本出ず敗れた。